兵庫県知的障害児者生活サポート通信

発　行　一般社団法人兵庫県知的障害児者生活サポート協会　理事長　松井美弥子
事務局　651-0062 神戸市中央区坂口通2丁目1番1号　兵庫県福祉センター内
TEL　078-891-4177　FAX　078-891-4188

障害のある人も普通に安心して暮らせる地域社会づくりを

理事長　松井　美弥子

兵庫県知的障害児者生活サポート協会の活動の地域生活事業では、今年度も各支部で地区育成会と共同でそれぞれのニーズに応じて、研修や先進地の見学、会員親睦会、本人活動支援等の行事を計画しており、審査会を経て助成をしております。其々に地域社会づくりへの一助となっていると存じます。

権利擁護事業では、今年は、6月に全国手をつなぐ育成会連合会の「第1回権利擁護セミナー」が、兵庫県手をつなぐ育成会が主管となり開催されました。県サポート協会も後援団体として参画し資金協力を致しました。セミナーには、全国から沢山の方の参加を得て、「障害者差別解消法」の研修と今後の各地域での取り組むべき課題について学びました。

●障害者差別解消に向けての取り組みを

障害者差別解消法が制定されても障害者への無理解、偏見が一足飛びに解消するとは考え難いですが、法律が出来たことは、障害の有る人が安心して暮らせる地域づくりへの大きな前進だと嬉しく思います。

差別解消法の制定により、全国の各県市町で条例づくりの検討がなされることと思います。勿論各市町に条例づくりが進む事は大歓迎ですが、一番重要な市民一人ひとりの他人を思いやる心をどう育てていくのかという基本をきちんと押さえて、協議して頂けることを切望します。

地元（宝塚市）で、2年程前にグループホーム開設の為に賃貸契約した住宅の近隣の方々から、激しい反対に遭いました。近隣の方々は、知的障害者への間違った情報と偏見から自分たちの隣に重度の知的障害者のグループホームが出来ることに不安を感じられ、総論賛成各論反対でした。強引に開設することは可能でしたが、利用者の安全を考え、開設は断念し、後日別の場所で無事開設いたしました。20年近く先進的にグループホームの開設を進めており当時は18箇所目の開設で、グループホームは市民権を得ていると信じていました。20年を経過してもまだ、知的障害者への偏見と無理解がある現実に愕然としました。

条例や法律に頼るだけではなく、私達の地道な活動が近隣の理解を獲得するカギであることを忘れてはいけないと強く思いました。

平成25年度　収支決算書

（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

●収入の部

科目		予算額	決算額
会費	会費収入	9,670,000	9,659,340
雑収入	小計	0	910
	受取利息	0	910
	雑収入	0	0
預り金		0	0
前期繰越金		2,033,703	2,033,703
収入合計額		11,703,703	11,693,953

●支出の部

科目		予算額	決算額
管理費		6,289,000	6,037,162
会費	会費支出	1,180,000	1,167,722
事業費	相談支援事業	400,000	400,000
	地域生活事業	950,000	936,515
	就労支援事業	230,000	206,646
	権利擁護事業	170,000	155,154
固定資産取得支出	什器備品購入支出	0	0
予備費	予備費	0	0
支出合計額		9,219,000	8,903,199
当期収支差額		2,484,703	2,790,754
次期繰越額		2,484,703	2,790,754

保険料

●収入の部

科目		予算額	決算額
保険料	預り保険料	65,200,000	65,124,960

●支出の部

科目		予算額	決算額
保険料	預り保険料	65,200,000	65,124,960

平成26年度　収支予算書

（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

●収入の部

科目		予算額
会費収入	制度運営費	9,855,000
雑収入	小計	0
	受取利息	0
	雑収入	0
預り金	預り金	0
前期繰越金		2,790,754
収入合計額		12,645,754

●支出の部

科目		予算額
管理費		7,939,000
会費支出		1,060,000
事業費	相談支援事業	400,000
	地域生活事業	1,060,000
	就労支援事業	280,000
	権利擁護事業	340,000
固定資産取得支出	什器備品購入支出	0
予備費	予備費	0
支出合計額		11,079,000
当期収支差額		1,566,754
次期繰越額		1,566,754

保険料

●収入の部

科目		予算額
保険料	預り保険料	66,645,000

●支出の部

科目		予算額
保険料	預り保険料	66,645,000

全国手をつなぐ育成会連合会 第1回権利擁護セミナーへ参加して

神戸市　多田　清子

平成26年6月16日に「全国手をつなぐ育成会連合会　第1回権利擁護セミナー」が兵庫県で開催されました。午前中は、全国手をつなぐ育成会連合会会長久保厚子氏の挨拶の後、講師の野澤和弘氏（毎日新聞論説委員）が「差別解消法について」様々な具体例を挙げて、直接的な差別だけでなく合理的配慮についても詳しく沢山の場面と事例を示しながら話されました。午後からは、野澤氏のコーディネーターにより、ジンポジスト久保厚子氏が、「育成会に求められる役割ついて」また、関哉直人氏は、「差別に関する意識調査について」講演されました。細川瑞子氏は「差別解消法と育成会に求められる役割について―広い視野からの活動へ」について講演され、「いやなことはいやと言える。差別についてどのように解決につなげていけば良いか。親だから出来ることは何かなど学び共に啓発に努めましょう」と話されました。この様なセミナーに出会えたことに、意義を感じました。

2014年6月16日　全国手をつなぐ育成会連合会
第1回権利擁護セミナー

＊　＊　＊

東播磨　假屋　京子

世界各国で障害者差別を禁止し、障害者の権利を保障するための法整備が加速する中、２０１３年「障害者差別解消法」が日本の通常国会で成立しました。障害者差別解消法成立のためには、党派を越えた国会議員の協力があった事を知りました。また、２０１３年より３年間かけて差別解消支援地域協議会が、都道府県や主要の市町村で設立される事も力強く思います。我が子が40歳を越した現在、幼児のころに比べ日本の社会もようやく、障害者に対する偏見もゆるくなってきたように思います。

障害者差別解消法が制定され、障害者の特性を理解した取り組みが期待されると思います。特に判断力やコミュニケーション能力にハンディのある重度知的障害者の場合は、保護者や周りの関係者の力添えが必要だと思います。育成会を始め、各種障害者団体が力を発揮して行かなければならないと思います。

熱中症に気をつけよう

★ 熱中症を防ぐには ★

こまめな水分補給と塩分補給を!!

・のどの渇きを感じていなくてもこまめに水分を補給しましょう。
・たくさん汗をかいた時は、塩分が摂れる梅干・経口補水液・スポーツドリンクなどが効果的です。
・就寝前・起床時には、コップ１杯の水を飲みましょう。

暑さを避けましょう

・室内の温度や湿度を測りましょう。
・窓を開け風通しを良くし、扇風機・エアコンを使って温度調整をしましょう。
・室温の目安は28℃です。

涼しい服装を心がけましょう

・通気性が良い、吸湿・速乾の衣服を選びましょう。
・えり元をしめると熱や汗が逃げにくくなるため、できるだけゆるめましょう。

★ 熱中症様の症状と対応 ★

めまい、立ちくらみ、筋肉痛、汗がとまらない
→水分、塩分を補給し、衣服をゆるめて涼しい場所で休みましょう。

頭痛、だるさ、吐き気、嘔吐
→涼しい場所で足を高くして休み、水分・塩分を補給する。症状が改善しない場合は、医療機関を受診しましょう。

意識障害、けいれん、手足の運動障害、高体温
→すぐに救急車を呼ぶ。救急車が来るまでの間、水や氷で血管（首、脇の下、太股、足の付け根）を冷やすましょう。

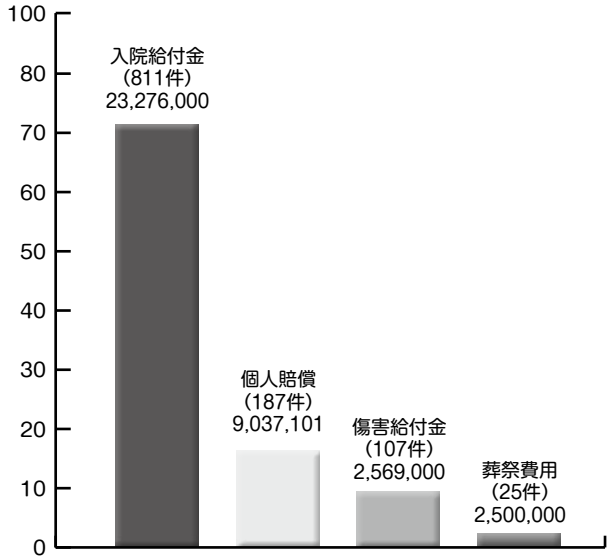
A－U保険に加入して

たつの市　矢野　一隆

サポート協会の地区代議員をしている関係で日頃から育成会の会員さんが集まる所では「A－Uの保険はいざというときに役に立つで」「御守りやと思って入っとき～」と宣伝してきました。勿論うちの娘も入っていますが、その保険のお世話になることが本当に起きるとは思いませんでした。

昨年の11月27日、娘が通っている生活介護施設で、つまづいて転倒し運悪くテーブルの角で左肘の内側をぶつけて打撲。翌日病院に行ってレントゲンを撮ると骨折していました。すぐにギブスで固定して1か月間不自由な生活が始まりました。A－Uに電話をすると保険金支払いに関する書類がすぐに送られてきて「リハビリが終わったら提出して下さい」との事。書類に関する説明も丁寧にしていただきました。年末にギブスは外れましたが、そこから2か月弱の間リハビリを行いました。リハビリ終了後に書類を提出すると約半月後には保険金が振り込まれました。親切で対応も早かったA－U保険に入っていて良かったと思いました。次回からは自分の体験を話してPRします。

平成25年度 保険金支払い状況



（平成26年6月末現在）

補償内容		件数	支払合計額（円）
入院給付金	付添介護保険金	186	15,488,000
	差額ベッド費用	101	3,222,000
	入院諸費用	262	3,256,000
	入院一時金	262	1,310,000
個人賠償		187	9,037,101
傷害給付金	傷害死亡	1	100,000
	傷害入院	15	765,000
	傷害通院	91	1,704,000
葬祭費用		25	2,500,000
合計			37,382,101

編集後記

サポート通信№12の発送作業は、宝塚市の「社会福祉法人宝塚いくせい会」のみなさんにお願いしました。

●保険請求のご相談、補償内容に関するお問い合わせは
ジェイアイシーウエスト株式会社
TEL：06-6941-5187
フリーダイヤル：0120-177-294

●保険加入のお問合わせは
一般社団法人 兵庫県知的障害児者生活サポート協会
TEL：078-891-4177
FAX：078-891-4188